

PARRIS DACOSTA HAYASHIMA KONPEKI



KONPEKI

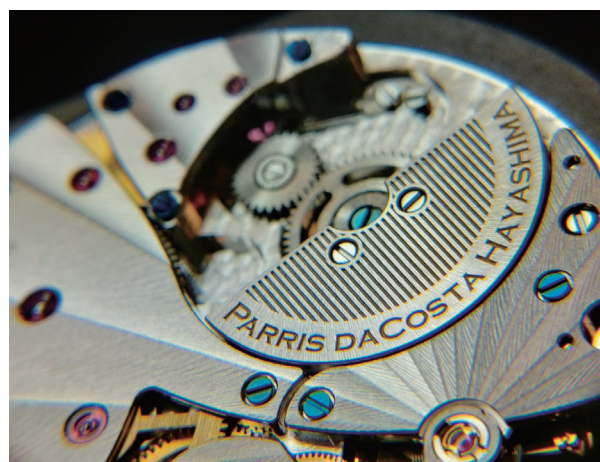
パリス・ダコスタ・ハヤシマは創業者3人が集まり、理想とする時計を作るために設立した独立系ブランドです。スイス・フルリエの時計製造技術と、九州・福岡の匠の技を融合させ完成した時計がファーストモデルの紺碧(KONPEKI)です。

パリス・ダコスタ・ハヤシマ(Parris daCosta Hayashima)

時計愛に溢れる、パリス・リチャード、ダコスタ・トーマス、ハヤシマ・サトシ。3人が集結し理想とする時計を作るために設立された独立系時計ブランドです。ブランド名は創業者のファミリーネームを並べています。

3人はそれぞれ事業を行っており時計業界やラグジュアリー業界の出身ではありません。プライベートでは家族ぐるみの付き合いを続ける旧知の仲で、共通の趣味が時計でした。時計談義を繰り返しているうちに、自分たちが理想とする時計を作りたいという思いが強くなり構想期間2年を経てブランドを設立しました。

一切の妥協をしない日本とスイスの伝統的な匠の技を融合した時計。互いに信頼をおき、互いの責任に置いて、仲間と協力しながらモノづくりを行う。そして何よりも全ての取り組みにおいて、心から楽しむことが我々の信条です。



紺碧(Konpeki)

深く濃い青色で伝統的な日本の色の1つとされます。日本の青色は海外から伝来したラピスラズリを粉状にした岩絵の具が発祥とされます。我々が時計のコンセプトを考える際、九州の伝統的な工房や景勝地をめぐり構想を深めました。偶然見つけた織物工房で見た藍の深い色合いは、我々が求めていた理想とする針の色でした。職人は、その色を紺碧と言いました。

紺碧のデザインの着想は、ダコスタ・トーマスが代々受け継いできたロンジン製のポケットウォッチです。6時の位置にスモールセコンドのサブダイヤルがありブルースチールの針を携えていました。特別な時に加えて、日常をエレガントに装うためのドレスウォッチを作りたく構想を含めて2年程度の月日をかけてデザインコンセプトを整理しました。

海外から伝来した青、インスピレーションを得る旅で偶然であった紺碧の色、デザインの着想を得たロンジンのブルースチール。ファーストモデルとしての名称は、自然と我々の中で紺碧という名称になったのも偶然では無いのです。

フルリエと福岡のコラボレーション

創業者の3人は、ヴァル・ド・トラヴァールの時計製造と九州のクラフトマンシップとのコラボレーションで理想とする時計作りをはじめました。時計本体とバックルはスイス・フルリエ。ストラップや時計の箱などのその他の小物は九州福岡。伝統的な水平分業スタイルで時計作りを開始します。

ムーブメントはヴォーシェ・マニュファクチュール・フルリエ(Vaucher Manufacture Fleurier)の薄型マイクロロータームーブメントのCal.5401をベースとしたPdCH01。ローターに銘入れを施し、針と同様の紺碧ブルー(PVD)ネジをアクセントに加えています。

ケースは、ラ・ショー・ド・フォンにあるLAB (Les Artisans Boitiers)とワークを進めながら我々のデザインを具現化しています。薄型のマイクロローターと大きめのスモールセコンドを取るためにチャプターリングを入れて全体のバランスを取っています。

ダイヤルはQuadrance et Habillageとワークを進めました。文字盤の表面は細かい凹凸がついた梨地仕上げです。盤面に銀分をまぶし馬毛のブラシで表情を整えサンドブラスト加工をしています。文字盤が受ける光の反射をおさえ視認性を高める実用的な目的もあります。色はアイボリーと白の中間色で調整しています。



文字盤のブランド名とスモールセコンド下のフルリエ・スイス(FLEURIER SUISSE)のレターは一般的なイメージよりも小さくしています。シンプルでエレガントな雰囲気を崩さないためにも、レターの大きさには工夫を凝らしています。一方で、文字が細かくなると高い精度の技術を要求されます。

針はPVD着色です。PVDを選択することで針とアプライドインデックスを同じトーンにすることができ時計の表情に統一感をもたせることができました。なお、紺碧の色をPVDで綺麗に再現することは珍しく、職人の高度な技術と我々の協力の中で紺碧ブルーを作り出すことに成功しました。



ベルトは福岡の革職人とともに紺碧専用には製作しています。天然のクロコを贅沢に使用したマット仕上げです。丁寧にポリッシュ仕上げを施したケースの輝きと対象にクロコダイルの質感を存分に味わうことができます。

紺碧を日常的に保管する箱は八女の木工職人である檜枝氏の協力を得ています。材木は40年前に檜枝氏が独立される際に父親から譲り受けたという古い楠を贅沢に使用しています。楠の木の表情を浮き立たせるために日本の伝統的な塗装技法で仕上げられています。箱の内装は紺碧ブルーのピッグスエードです。近年の高級時計の箱は大型化していますが、紺碧を収める箱はサイズを工夫しています。また、蓋を分離させることで開けた状態でも安定します。時計の定位置として置いて使うことを想定しています。



FUNCTIONS

- 時・分表示
- スモールセコンド(6時位置)

MOVEMENT

- Vaucher Manufacture Fleurier社製Cal. 5401をベースとした、Cal. PdCH01 自動巻きムーブメント
- タングステン製のマイクロローター
- ロジウム仕上げのブリッジ コート・ド・ジュネーブ装飾
- 29石
- 160個のコンポーネント
- 振動数：21,600 VpH (3Hz)
- 約48時間のパワーリザーブ
- 径：30mm(13 ¼リーニュ)
- 厚：2.6 mm

DIAL & HANDS

- アイボリー・ホワイト グレイン仕上げ
- Konpekiブルーのアプライド・インデックス
- ドーフィン型 Konpekiブルーの針

NUMBERED EDITION

- 25本の限定生産

CASE & BRACELET

- ステンレススチール
- ケース径：40.50mm
- ケース厚：8.53mm
- トップ：無反射加工がなされたサファイア・クリスタル
- ボトム：サファイア・クリスタル
- 限定ナンバーを刻印
- 防水性：3気圧日常生活防水(3 atm)
- アリゲーター・ストラップ ハンドステッチ

PRICE

- ¥ 1,200,000(税別)

PARRIS DACOSTA HAYASHIMA

FLEURIER · KYUSHU